

# JAMSTEC の地質試料情報公開サイト

○市山 祐司・佐川 優子・華房 康憲・齊藤 秀亮 (海洋研究開発機構),  
相馬 伸介・高山 博行・長山 杏梨・兼次 藤子 ((株) マリン・ワーク・ジャパン)

JAMSTEC は、船舶や潜水船によって多様な地質試料を採取し、地球変動の解明を行ってきた。これらの貴重な試料は、試料の取得データや分析データとともに系統的な保管・管理をすることが大変重要である。JAMSTEC 地球情報研究センター (DrC) では、地質試料のうち岩石と堆積物コアの各種データを「深海底岩石サンプルデータベース GANSEKI」および「JAMSTEC コアデータサイト」でそれぞれ公開しており、JAMSTEC で保管・管理している試料については、**研究・教育目的であれば無償で貸し出し**を行っている。本発表では、DrC が運用する 2 つの地質試料情報公開サイトについての現状と今後の予定について報告する。

深海底岩石サンプルデータベース GANSEKI (図 1) は 2006 年より運用され、現在約 16,600 件の岩石サンプルのメタデータが登録されている。このうち約 6,500 試料がアーカイブとして JAMSTEC で保管・管理を行っている。GANSEKI は、論文に掲載されている地球化学分析データも登録することができ、データは CSV ファイルでダウンロードすることもできる。分析データは、伊豆・小笠原・ボニン弧域の岩石が中心であるが、JAMSTEC で採取された岩石の分析データであれば海域に関わらずデータ登録を行っている。国際的岩石化学ポータルサイト「EarthChem」とも連携を行っており、化学分析データがある試料のメタデータを提供している。GANSEKI は運用開始以来、利用便宜向上のため幾度かの機能改修を行ってきた。今年度は、データ項目を固定表示、項目別によるソート機能、薄片写真表示機能などの改修を行っている。

JAMSTEC コアデータサイト (図 2) は、2008 年より運用され、現在 431 件のコア試料のデータが登録されている。試料は、高知コア研究所にて保管・管理されており、現在、約 1,900 セクションの試料が利用可能な状態となっている。2010 年 3 月には、サイトのリニューアルを行い、「地図から検索」ができる機能等が追加され、より使いやすく改善された。今年 10 月からは、物理特性データのエクセルファイルの公開も開始している。今年度内には、高解像度のコア写真やソフト X 線写真が公開される予定となっている。また、過去 (2008 年度以前) の所内利用航海で採取されたコア試料についても公開作業を進めており、今年度内の公開を予定している。

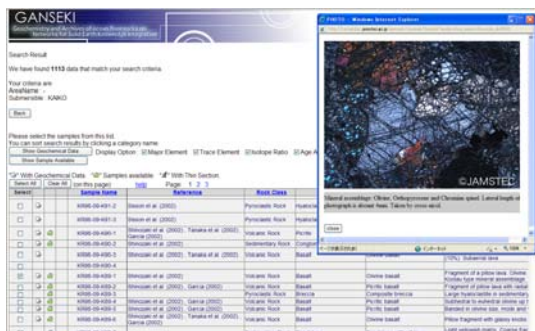


図 1 深海底岩石サンプルデータベース GANSEKI  
[http://www.godac.jamstec.go.jp/ganseki/index\\_jp.html](http://www.godac.jamstec.go.jp/ganseki/index_jp.html)  
(注: 2010 年 4 月より URL が変更されました)



図 2 JAMSTEC コアデータサイト  
<http://www.godac.jamstec.go.jp/coredata/j/>  
(注: 2010 年 4 月より URL が変更されました)